

賀正

新年のごあいさつ



小郡市長
加地 良光

新年あけましておめでとうございます。

ことしのNHKの大河ドラマは、『西郷どん』。明治維新150年、維新立役者の西郷隆盛を、作家の林真理子さんが独特な視点で描き出すところが楽しみです。

その西郷さんについて文化財課が調べたところ、京都や福岡に行くときに、何度か、薩摩街道、小郡市を通っているようです。

元治元年7月、長州藩が京都に出兵し、会津・薩摩などの藩兵と激突した「蛤御門の変」で、西郷さんは3月に鹿児島を出発し、12月に帰途に着いたという記録が残っています。

さすがに、松崎宿に泊まったとまで言うと、歴史を都合よく推測

している、怒られそうですが…。

幸いなことに、小郡は、美しい山や緑の原風景を残しており、西郷さんがどんな思いで、街道を京都へ向かったのか？どんな気持ちで、鹿児島へ戻ったのか？想像するだけで、ひとり司馬遼太郎の気分で散歩ができそうです。

往來のまち小郡市―多く出土する朝鮮系無文土器からわかる弥生時代の海外との交流、大宰府南側の守りとしての役割も担った小郡官衙遺跡群、そして懷良親王率いる南朝方と、少弐頼尚・足利勢の北朝方が激突した大原合戦も、往來の地であればこそその大きな戦の場となったのでは…。

今も言うまでもなく、九州の高速道のクロスポイントである小郡市ですが、そんな往來の潜在的な力をどう未来へ生かすべきか？この1年、その可能性をさらに市民の皆さんと一緒に探りたいです。